

夏季休業中に震災ボランティア活動に参加する学生へ

夏季休業期間を利用して、災害復旧のためのボランティア活動を考えている学生は、次の諸注意をよく読み、自己管理・自己完結を原則に、参加するようにしてください。

なお、出発前に「ボランティア活動届」を学生課に提出してください（終了後は終了報告をお願いします）。

ボランティア活動に入る前の注意

1. 被災地に入る前に、ホームページ等で必ず各地の災害ボランティアセンターの設置状況を自分で確認し、確実な情報を入手してください。
2. ボランティア活動に参加する場合は、必ずご家族の了解を得た上で参加してください。また、連絡先の情報や連絡網を家族間で確認してください。
3. 被災地での活動には、危険や重労働が伴います。安全や健康は自己管理できることが前提です。自分の体力やメンタル面の限界を、十分に知ることが大事です。
4. 単独行動は厳禁です。いずれかのボランティアセンターに登録した上で、コーディネーターやリーダーの指導に従い、組織的な活動を心がけてください。
5. 被災地では、言葉遣いや行動面で、被災された方への配慮を忘れないでください。

ボランティア活動にあたっての注意すべき事項

1. **服装**に注意！（底の厚い靴、丈夫な手袋、防塵マスク等活動内容に即した服装の準備を）
2. **危険**を知る！（PCB や石綿が含まれている機器や資材、廃棄薬品等には触れないこと）
3. **オーバーワーク**に注意！体調管理を心がけ、活動の参加や中止は自己判断すること
4. **飲食**できる場所、**喫煙**できる場所は必ず事前に確認すること
5. ボランティア**保険の適用期間**に注意！（加入日の翌日から保険適用の場合があります）

ボランティア活動に対する本学の対応

1. 「ボランティア活動届」を提出することにより、本学で認めた活動となり、学生教育研究災害傷害保険（「学研災」）の対象として取り扱います。
 - 1 学研災は、本学が保険料を負担し、学生全員が加入している保険です。
 - 2 学研災の適用期間はボランティア活動中のみです。移動中や活動時間外は対象外です。
2. 本学では、ボランティア活動の実践を、授業の実習や演習と位置づけての単位認定をしていません。予め了解しておいてください。

以上